

# 第1回 むつ圏域大規模氾濫時の減災対策協議会 ～「水防災意識社会 再構築ビジョン」県管理河川への拡大～

昨年の関東・東北豪雨や本年8月の台風10号による大規模な水害など、現状の河川的能力を超える大災害が頻発していることから、これらに社会全体で備える「水防災意識社会」の再構築は喫緊の課題。

このため青森県では、河川管理者、県、国、市町村等の減災の取組を共有し、社会全体の水防災意識を確実なものにするために協議会を設置し、概ね5年以内に行う取組を、年内に取りまとめることを目指す。

## 開催概要

■日時 平成29年5月29日(月)13:30～15:00

■会場 むつ合同庁舎

### ■出席者

むつ市長、大間町長、東通村副村長、風間浦村長、佐井村総務課長、青森地方気象台長

青森県(県土整備部理事、危機管理局長、下北地域県民局地域整備部長)

### <アドバイザー>

国土交通省東北地方整備局

(河川部 地域河川課 建設専門官、青森河川国道事務所 調査第一課長、水防企画係長)

### ■議事

- ・設立趣意(案)・規約(案)・傍聴規定の確認
- ・「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく県管理河川での取組について
- ・現状の水害リスク情報や取組状況の共有
- ・今後のスケジュール(案)について

## 参加自治体首長の主な意見



H29.5.29協議会の開催状況

- ・重要水防区間を県・市町村間で共有しているのか。  
→今後、市町村と現地確認を進めていきたい。
- ・タイムラインは、非常に重要なものだと思っている。
- ・県の水防資機材について、相互に融通ができれば非常に良い形になるように思う。  
→地域整備部に連絡いただき臨機応変に対応したい。
- ・「水防災意識社会の再構築」は、地域の住民の方々のためにも必要な取組であると改めて思った。
- ・川の大きさに関わりなく、この取組をしっかりと継続していくことが重要だと思う。